

19 ナガレホトケドジョウ

(ドジョウ科)

兵庫県ランク:要調査

Lefua sp.1

環境省ランク:EN

種の概要

全長は6cm程度。ホトケドジョウと異なり、泥底の湧水湿地ではなく、山間の細流に生息する。小型の水生動物を中心に食べる雑食性。繁殖期は5～7月で、岩の下の隙間などで産卵する。個体識別による追跡では、寿命は極めて長く、15年を超える個体もいる。日本固有の未記載種で、本州と四国の瀬戸内海東部流入河川、福井県から鳥取県までの日本海側に分布する。



写真提供:兵庫県立人と自然の博物館(撮影:増田 修)

県内における生息状況及びその他特記事項

県内では日本海側河川、瀬戸内海側河川、淡路島を含む広い範囲から生息が確認されている。比較的標高の低い山間の細流という本種の生息環境は、ひょうごの川・自然環境調査を代表とする大規模な魚類相調査では調査対象になりにくい。今後、本種の生息環境に注目した調査を実施した場合、本種の県内分布は、これまで考えられていた以上に広く、生息個体数も多い可能性がある。

保護上の留意点

山間の細流に生息することから、生息が知られないままに砂防堰堤の設置などの環境変化によって影響を受けることがある。また、一部の生息地では上流より流下してきた砂泥により、本種の生息に必要な河床の間隙が埋まっている状況が見受けられる。

県内分布

神戸市、宝塚市、川西市、三田市、西脇市、多可町、姫路市、相生市、宍粟市、たつの市、市川町、上郡町、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、篠山市、丹波市、洲本市、南あわじ市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	○
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	○

